

ワークブック @ 日本

このワークブックを必ず読み、内容を理解した上、宿題を全て行ってから講習に参加してください。暗記すべき部分は全て覚えてから講習に来てください。

大宇宙・小宇宙論
と五元素

まずは、この詩を声に出して読んでください。

そして、何度か声に出して暗唱できるようになってから、次に進んでください。

“宇宙の中に在るものは、体の中に存在する
体の中に在るものは、宇宙の中に存在する
体も宇宙も変わらない
もし、悟った眼で見るのなら”

この詩は、サツタイムニという聖者が書いた詩で、小宇宙と大宇宙についての結論を述べています。

小宇宙にあるものは大宇宙に存在し、大宇宙にあるものは小宇宙に存在するのです。この詩から、大宇宙・小宇宙とは一体何のことを指すのでしょうか。書いてみてください。

この詩から理解すると、小宇宙とは私たちの肉体です。
しかし、「小宇宙」というキーワードだけで考えると、それは、小さな宇宙…原子などにもたとえられるかもしれません。
そして大宇宙とはそのままの意味で、宇宙・惑星・地球・環境に例えられます。

「宇宙の中に在るものは、体の中に存在する
体の中に在るものは、宇宙の中に存在する」もの。

まずご自身で、考えられる例を挙げてみてください。
1つでも見つかったなら、次に進んでください。
どうしても考え付かなければ、次に進んでみましょう。

まず、常識で考えてみましょう。

私たちの肉体は、食べ物と水から出来ています（※アンナマヤコーサム）

その食べ物と水は、この地球からとれます。

私たちの肉体は、この地球からとれるものでできています。

つまり、私たちの肉体を創っているものは、この地球にあるものです。

私たちの体は、自然のエコシステムなしには存在していません。

水道水をひとつとっても、その水は水道から来ていますが、ダムに溜まる前に、雨であり、その雨は雲であり、空にありました。その前、水分が地表から蒸発していったので、空には雲ができ、空気が冷えて雨が降ったのです。

あなたがきっとインドで食べるだろう食事に、ケーララのココナッツ入りカレーがあります。それにはココナッツミルクが必要ですが、日本のように缶詰で手に入りません。地面に落ちているヤシの実を拾い、大きな鎌でそれを割り、中に入っているものを削りだしていったものが、私たちの知っている、白い“ココナッツ”と呼ばれるもので、それに水を足してしぼったものが、“ココナッツミルク”です。ヤシの木は天に届くぐらいにぐんぐんと伸び、さんさんと太陽を浴びて、たわわに実を一番てっぺんの方につけていきます。

食べ物には、全てこういった歴史があります。

どんなに機械化し、インスタント化した食事であろうと、もとをたどれば全てはこの地球の大地からとれるものです。

「医食同源」という言葉がありますが、本当は「医農同源」と言う方が本質に近いのです。なぜから、食べ物はこの土地からできるので、農業はそのまま私たちの肉体に影響するのです。

体とこの宇宙は常に繋がっているのです。

★ここで、今日、あなたが食べたものを書き出してみましよう。

あなたの体は、何で出来ていますか？

例：牛乳

★そして、その食べ物はどこからやってきましたか？

例：牛

★今日食べたもの1つを取り上げて、その食べ物が来たところと、その食べ物が育ったところを想像してみましよう。想像できるところまで食べ物の伝記を書いてみましよう。

例：牛乳

飲む←牛乳パックされる←殺菌される←牛乳がしぼられる←牛が赤ちゃんを産む←
牛が草や米を食べる

↓

飲んだ後に胃でタンパク質が消化され、腸で消化吸収される→カルシウムはきっと骨

INTERNATIONAL RESEARCH FOUNDATION FOR SIDDHA SCIENCE (INFOS)

Reg no: 17/2012, FIRST FLOOR, PRABHATH RESIDENCY, FORT ROAD -KANNUR-670001

にいく、一部は尿として出ていく → トイレ → そのあと下水処理場に流される
...